

ふれあうのは今でしょプロジェクト

ママアサ
サマーサ
ンタ会
場

さよう子育て支援センター

企画意図

●企画意図

事業名：ふれあうのは今でしょプロジェクト

施設名：さよう子育て支援センター

作成者名：塚本智昭

与件

- ・地域人材による家庭支援プログラム
- ・年度内に実施
- ・子育て支援センターで実施

思い

- ・子育ての責務を果たせたらいいね。
- ・高齢者の子育てノウハウを活用できたらいいね。
- ・三世代の交流ができたらいいね。
- ・笑顔いっぱいだったらいいいね。

マーケティング分析

- ・少子化、情報化の影響もあり、近頃の子どもたちは群れて元気よく遊ぶよりも、ゲーム機を使って一人で遊ぶことの方が多くなっている。
- ・親は仕事、家事に追われて毎日忙しく、ゆっくり子どもと遊んだり、話したりする時間をなかなか持てない。
- ・子どもとの遊び方が分からない親もいる。
- ・子どもと遊んで楽しかったという経験が少ない親もいる。
- ・核家族化、共働きの増加により子どもをが幼い頃から保育所等に預け、行政サービスに子育てを委ねてしまう傾向もある。

＜背景＞

・少子化、情報化の影響もあり、近頃の子どもたちは群れて元気よく遊ぶよりも、ゲーム機を使って一人で遊ぶことの方が多くなっています。これは、幼い頃からテレビやDVDを見たり、スマホやゲーム機にふれる機会が多いことにも原因があると考えられます。親は仕事、家事に追われて毎日忙しく、ゆっくり子どもと遊んだり、話したりする時間をなかなか持つことができません。親子のふれあいを通して、子どもには安心感、自信、人とかかわる力などを育てることができます。親は、自信、子どもへの愛情などをより強めることができます。幼いうちに、ゲームやテレビに頼らずに子どもとふれあったり遊んだりするすべを、親がどれだけ知っているか、そしてその時間をどれだけ生み出しているかが子育ての鍵の一つとなります。

ポテンシャル分析

- ・子育て支援センターは、佐用町の中心部にあり、アクセスしやすい立地条件である。
- ・両親教育インストラクター、アシスタント等スタッフが充実している。
- ・チームメンバーは、子育てを経験している。
- ・身近な遊びの提供が少ない。

＜目的＞ ・子どもが将来ゲームやテレビに依存してしまうことを防ぐために、親子でふれあったり遊んだりする時間と場、そしてその具体的な方法を提供します。

＜目標その1＞

- ・親子でふれあったり遊んだりすることを通して、子育ての楽しさを実感する。

＜目標その2＞

- ・未就学の子どもと親が夢中になる遊びについて学ぶ。

＜目標その3＞

＜目標その4＞

＜目標その5＞

＜コンセプト＞

つながれ、笑顔いっぱいの子育て！！

企画概要

●企画概要

<事業の概要>

親子のふれあい、親子の遊びについて、体験を通して学ぶための事業として、イベント形式の導入編と講座形式の実践編の2回を実施する。

■事業名 ふれあうのは今でしょプロジェクト

■内容

①導入編

○出店形式で様々な遊びを親子で体験する。

- ・魚釣りゲームコーナー
- ・伝承遊びコーナー
- ・かるた、絵合わせコーナー
- ・しゃぼん玉コーナー
- ・ホルモン焼きうどん作り体験コーナー …など

②実践編

○親子ふれあい遊びについて学ぶ。

- ・伝承遊び
- ・親子ふれあい体操 …など

■対象

未就学の子どもとその家族（オープン参加）

■日時

- ①8月25日（日）10時～12時
- ②11月の日曜日 10時～12時

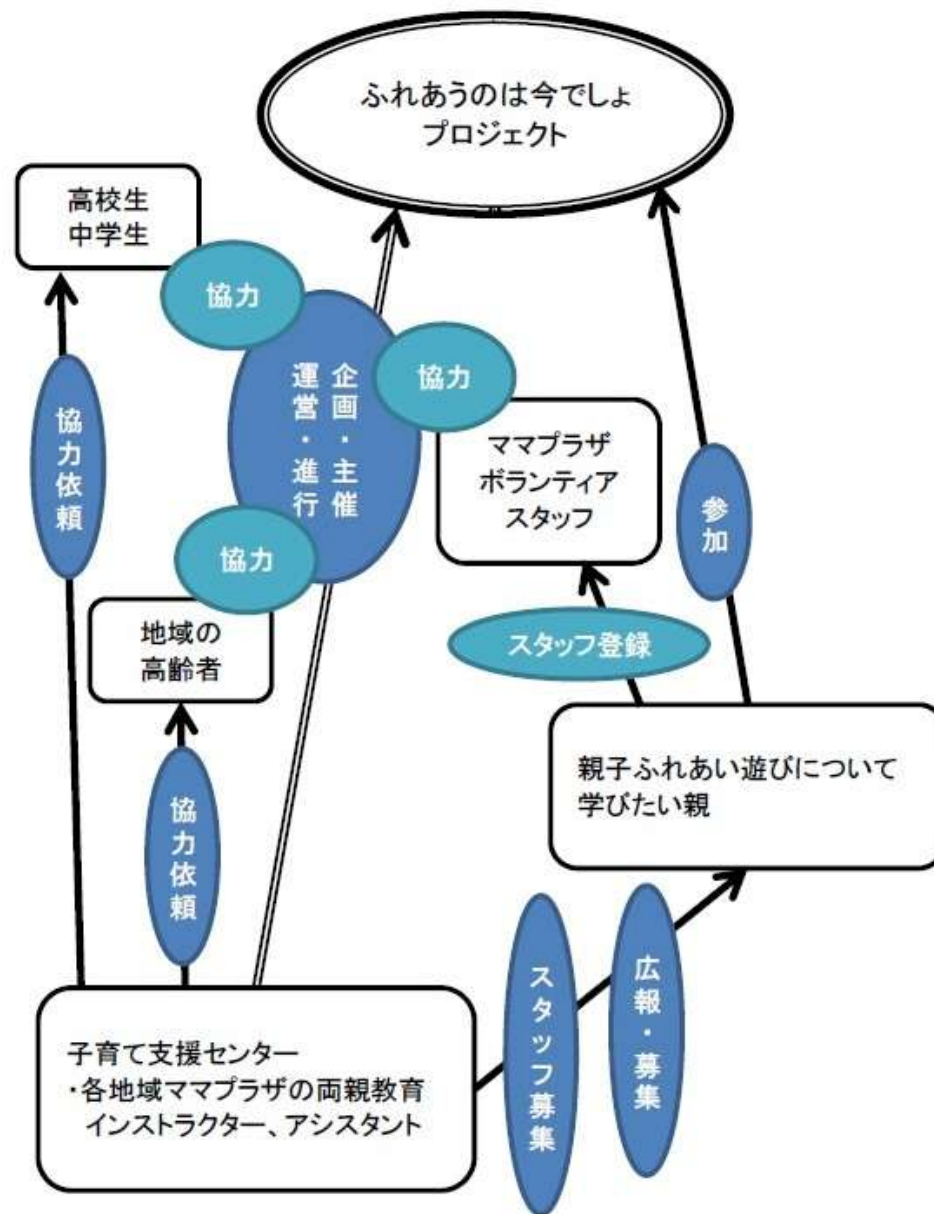
■会場

さよう子育て支援センター

■その他

- 準備段階から親もスタッフとして企画・運営に携わる。
スタッフ募集→打ち合わせ会→各担当で準備→
前日準備→当日の運営
- 地域のおじいちゃん、おばあちゃんの協力も得る。
- 中高生ボランティアの協力も得る。
- オープニングを工夫し、趣旨を明確に伝える。

<しくみ>



内容詳細①

●内容詳細 事業名：ふれあうのは家でしょプロジェクト No.1

施設名：さよう子育て支援センター

作成者名：塚本智昭

テーマ

集結!!サマーサンタ～家族で参加していっぱい遊ぼう～

成果目標

- ・親子でふれあったり遊んだりすることを通して、子育ての楽しさを実感する。
- ・親子でのふれあい遊びについて、家庭でもやってみたいという意欲を高める。

事業の形態

イベント形式（出店形式）

内容

- 受付
- 開会行事
 - ・ゆるキャラ登場（本日の趣旨について）
- 親子で出店まわり（スタンプラリー）
 - ・なんでもつりぼり
 - ・ボール投げ
 - ・金魚すくい（手作り金魚）
 - ・的あて
 - ・ヨーヨー
 - ・しゃぼん玉
 - ・佐用町ゆるキャラまつり・総選挙
 - ・バザー（収益金は被災地へ）
 - ・かき氷、ポップコーン（受益者負担）
- サマーサンタ登場
 - ・本日の趣旨の確認とふり返り

講師（進行役）

ママプラザ両親教育インストラクター、アシスタント

開催要項

- ◇日 程：平成25年8月25（日）午前10時～正午
- ◇場 所：さよう子育て支援センター
- ◇対 象：未就学の子どもとその家族（オープン参加）

準備物

案内チラシ、会場看板、受付簿、スタンプラリー用紙、シール、名札、アンケート用紙、出店案内資料、出店案内看板、カメラ、ホワイトボード、マーカー、マグネット、机、いす、会場飾り、ゆるキャラ10体、投票箱、マイク、BGM音楽CD、テント、各出店で必要な物、サンタ衣装

予算

収入

- 支出
- ・講師謝金、交通費
 - ・ボランティア謝金、交通費
 - ・ボランティアお茶
 - ・ボランティア保険

役割分担

- ・担当A（全体進行）
- ・担当B（進行補助）
- ・担当C（音響・撮影）
- ・担当D～I
（受付・各出店運営）

当日までの準備スケジュール

〇7月

- ・チラシ配布
- ・町広報でお知らせ
- ・ボランティア募集
- ・ゆるキャラ借用依頼
- ・スタッフ打ち合わせ会

〇8月

- ・町ケーブルテレビでお知らせ
- ・ボランティア打ち合わせ会
- ・各出店担当ごとに打ち合わせ、作成、準備
- ・スタッフ打ち合わせ会
- ・会場準備（前日）
- ・当日運営

内容詳細②

●内容詳細 事業名：ふれあうのはやでしよプロジェクト No.2

施設名：さよう子育て支援センター 作成者名：塚本智昭

テーマ

ちゃれんじキッズ～手作りかるたで親子の勝負！～

成果目標

- ・完成したかるたを使って親子で遊び（勝負し）、かるたの楽しさ、親子で競うことの楽しさについて学ぶ。
- ・段ボールで巨大迷路を作り、親子で遊ぶ。

事業の形態

参加体験型（かるた遊び）

内容

- 受付
- 開会行事
 - さよう子育て支援センターのゆるキャラ“さよまるくん”の登場
 - ・本日の趣旨について
 - ・手作りかるたの披露
- 巨大迷路を作る
- 手作りかるたで親子の勝負
 - ・親子で勝負
 - ・ママブラザ親子と小学生で勝負
- 巨大迷路で遊ぶ
- 閉会行事
 - 本日の趣旨の確認とふり返り

講師（進行役）

ママブラザ両親教育インストラクター、アシスタント

開催要項

- ◇日 程：平成25年11月14日（木）午後1時30分～午後3時30分
- ◇場 所：さよう子育て支援センター
- ◇対 象：未就学の子どもとその家族（オープン参加）
- ◇備 考：ママブラザと小学生との交流会と兼ねて実施する。

準備物

案内チラシ、会場看板、受付簿、名札、アンケート用紙、カメラ、ホワイトボード、マーカー、マグネット、会場飾り、ゆるキャラ1体、マイク、BGM音楽CD、手作りかるた、段ボール

予算

収入

支出 ・講師謝金、交通費
・消耗品

役割分担

- ・担当A（全体進行・かるた遊び進行）
- ・担当B（迷路進行）
- ・担当C（音響・撮影）
- ・担当D（受付・進行補助）

当日までの準備スケジュール

○9月

- ・スタッフ打ち合わせ会
- ・ママブラザの各サークルなどを利用して、かるたを作成

○10月

- ・スタッフ打ち合わせ会
- ・ママブラザの各サークルなどを利用して、かるたを作成
- ・小学校との打ち合わせ

○11月

- ・スタッフ打ち合わせ会
- ・会場準備（前日）
- ・当日運営















つながれ、笑顔いっぱいの子育て

サマーサント

佐用町子育て支援センター

キラキラっ子ママブラザ

ピスラっ子ママブラザ

ひまわりっ子ママブラザ

みかづきっ子ママブラザ



集結!!

コンセプトは...

親子の
ふれあい

目標は...

親子で
楽しく遊び、

笑顔
いっぱいになろう

方法は...

親子で
心をあわせて

指令を
クリア!

その名も...

つながるのは、
今でしょ!
プロジェクト

第二回



























成果と課題

●報告書

事業名：ふれあうのは今でしょプロジェクト

チーム名：チームホルモンうどん

作成者名：塚本智昭

●当日の実施概要

- ①導入編(8月26日)
 - 参加人数…198人
 - 変更点…警報及び水防指令発令のため、翌日に順延となった。保育園との交流会を兼ねた。
- ②実践編(11月14日)
 - 参加人数…68人
 - 変更点…特になし。

●参加者の声や様子

- ①導入編(8月26日)
 - 子どもたちが喜んで遊ぶことができ、とても良かったです。
 - 子どものうれしそうな笑顔が見れて良かったです。
 - いろいろなお店があって、子どもと一緒に楽しめました。
 - 家でもやってみたいと思うお店(遊び)があり、良かったです。
 - 「なんでもつり」をととても楽しんでいました。
 - たくさんのゆるキャラが登場して楽しい雰囲気でした。
 - 父親が仕事で参加できなかったことが残念でした。
- ②実践編(11月14日)
 - 素敵なかるとがたくさん出来上がっていて、びっくりしました。
 - かるたで遊ぶ時間が少ししかなくて残念です。
 - もったかるたで遊びたかったです。
 - 段ボールの迷路づくりがとても楽しかったです。家でもしたいです。
 - 段ボール迷路の中は暗かったけど、友だちの声を頼りにゴールまで進めました。

●実施者の自己評価

〈企画意図と照らし合わせてみて、できたこと・できなかったこと〉

- ①できたこと
親子でじっくりふれあう時間と場を提供することができた。子どもと一緒に遊んで楽しかったという体験を生むことができた。
- ②できなかったこと
未就学児の親子での遊びという観点では、もう少し簡単な遊びの紹介が必要であった。

〈手ごたえを感じたこと
よかったこと〉

- 導入編では、出店形式で遊び体験コーナーを提供することにより、参加者は様々な遊びを体験することができた。
- 実践編では、ちゃれんじキッズとして親子で体験したことをもとにかるた作りに取り組んだことにより、参加者の当事者意識を高めることができた。
- かるた作りは、体験の言語化につながり、体験や気づきを振り返るよい機会となった。自尊感情や連帯感の高まりにもつながった。

〈たいへんだったこと
反省すべきこと〉

- 導入編は、日曜日開催の予定であったが、警報のため月曜日に順延となった。そのためボランティアスタッフの参加が減り、当日の運営がバタバタした。また、父親の参加がなく、父親とのふれあいを生むことができなかったのも残念である。警報時の対応について、入念な計画が必要である。
- 実践編当日の小学生との交流会では、巨大迷路とかるた遊びの2種類の遊びの提供となったため、時間配分が難しかった。

〈気づいたこと・
学んだこと〉

- 企画意図—企画概要—詳細プランという手続きで事業を考案することによって、事業全体を俯瞰することができた。
- かるたは、予想以上に子どもが夢中になる遊びであることが分かった。また、かるた作りは参加者の特技を生かすよい機会となり、自尊感情の高揚につながった。作成したオリジナルかるたで遊べる機会を今後も提供したい。

●これからに向けての課題

(この企画をさらによくするために工夫・配慮すべきこと、このテーマにおいてさらに手をつけるべきこと等、実践をしてみえてきたこと)

- 警報時の対応について、入念な計画が必要である。
- かるたには、通常の遊び方の他にも、絵カードとして、1枚の絵本のようにして、歌としてなど、工夫次第で様々な遊び方ができるという魅力がある。発達段階に応じた遊びを紹介することが必要である。